

Campus Mail

For all the students

FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

この件のお問い合わせは広報課へ
TEL : 092-606-0607
MAIL : kouhou@fit.ac.jp

掲示期間 2022-112
10月20日～11月09日

『課題解決型インターンシップ』 篠栗町役場こども育成課 「やまばと児童館」実習報告

課題解決型インターンシップとは、

- ・『実践する力』（学んだ知識を応用し、実際の仕事の中で活用していく力）の育成を目的とした、2・3年生対象の選択科目「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」の1つの型。
- ・企業が実際に抱える課題に取り組み、課題を解決するためのプロセスを実践することで実社会でも応用可能な汎用的能力を養うことを目的とする。2名程度でチームを組み活動することにより、自分の専門性を活かしながら他者とチームで働く力を養うことができる。

○企業名： 篠栗町役場 こども育成課、やまばと児童館

○課題： 篠栗児童館 3館の中では面積が小さい中で利用者が増加しており、コロナ禍での安全で快適な施設利用方法やゾーニングなどが課題

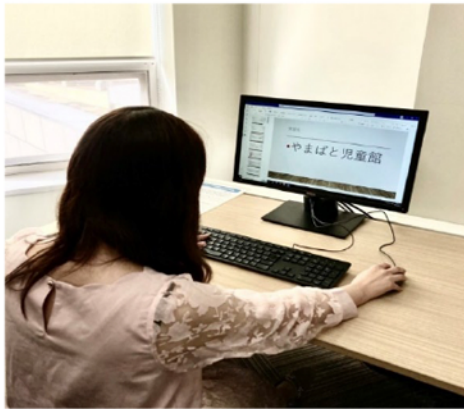
○課題： 夏休み期間の児童の1日のスケジュールや支援員間のコミュニケーションの改善などで、児童館との一体的な運営の強化

○達成目標： 児童館内での学童、自由来館児童、親子のスペース配分の提案。小学校内の学童室と児童館の連携方法の提案

○概要： インターンシップ報告書を作成、やまばと児童館がよりよくなる方法を提案



児童館の様子



報告書作成の様子



遊戯室の様子

課題

- ・児童館のスペースが狭いが児童の人数が多いため部屋の数が足りない
- ・小学校の学習室に行くとき状況がわかるツールがないため学習室の状況がわからない

スペースが狭いが児童の人数が多いため
部屋の数が足りない



児童館の近くに空き部屋を借りる

小学校の学習室に行くとき状況がわかるツールがないため
学習室の状況がわからない



児童館と小学校にパソコンを一台ずつ用意して
テレビ通話をすることで状況がわかる

インターンシップを通じて相手の目線で物事を考えることがいかに大切であるかを改めて実感しました。最初は課題の改善案のことで頭がいっぱいでしたが最後は子どもたちや支援員さんの話を聞き自分なりに考えをまとめて提案することができたので良かったです。今後の大学生活でも話をするときには自分の考えをまとめようと思いました。（社会環境学科2年 河野瑞貴）